

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実 施 事 業	事務事業名 特別支援教育推進経費（中学校）
----------------------	------------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	3	教育環境の充実
主要な施策	3	特別支援教育体制づくり
事務事業番号	005	事務事業コード 52233005 事業開始年度 平成 1 5 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	特別支援教育推進経費（中学校）
------	------	------------	-----------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	（事務事業の実施目的を具体的に記載してください） 市内中学校に設置している特別支援学級において、より充実した特別支援教育の推進を図る。
手段（事業の内容・活動）	（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください） 心身に障がいのある生徒に対し、その状態、能力、特性に応じた適切な教育の場を確保し、生徒一人ひとりが持つ可能性を最大限に伸ばす教育を行う。 特別支援学級設置に伴い、消耗品、備品などを整備する。
成果	（事務事業の実施成果を具体的に記載してください） 心身に障がいのある生徒が、積極的に社会に参加し自立できるようになる。
根拠法令等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実 績	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標	26年度 目 標
成果 指標	特別支援学級数	学級	目標値	9	9	9	9	9
			実績値	9				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	741	585	520	520	520	1,560
合 計				741	585	520	520	520	1,560
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	398	409			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		398	409			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 本事業は、教育の機会均等の理念に基づき実施されている。市が障がいのある生徒のために、教育環境の整備を行うことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 生徒の状態、能力にあった教材を使うことにより、学習の理解度があがる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 生徒の状況に即した教育環境を更に整備し充実する。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 必要最低限の選定を行うこととしているが、状況によって必要とするものが変わる場合もあり、削減の目途をたてるのが難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	特別支援教育の推進を図るために、必要な事業である。
-----------	----------------------	---------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）